

【訪問先詳細】

1 日本無線硝子株式会社

(1) 訪問先 ふじみ野市福岡2丁目1-8 日本無線硝子株式会社

(2) 訪問時間 午後1時30分から午後2時30分まで

(3) 特徴など

～手吹きによるハンドメイド成型の伝統を守り、最先端のガラス製品を製造～

- ・真空管ガラス工場として出発。ガラスの溶融から成型、加工までを手がけるガラス製品専門企業
- ・手吹き成型やプレス成型、ガラスと金属の封着などの高い技術を保有
- ・手吹き成型では、イカ釣り漁船の集魚灯から最先端プロジェクトであるニュートリノ研究の光電子増倍管用ガラスバルブまで、多品種少量の工業用ガラス製品を生産
- ・特に硝子大手が参入しない医療用電子管などの市場規模の小さな特殊分野で付加価値の高い製品を提供
- ・小柴昌俊博士に続き、梶田隆章博士のノーベル物理学賞受賞に貢献した「スーパーカミオカンデ」に使用されている光電子増倍管用ガラスバルブを製造。現在、次世代実験施設となる「ハイパーカミオカンデ」に使用されるガラスバルブの製造を開始
- ・高齢者の雇用確保を積極的に推進。平成30年に高年齢者雇用優良事業所として埼玉労働局長表彰受賞

2 田子山富士保存会

(1) 訪問先 志木市本町2-9-40(敷島神社境内) 志木の田子山富士塚

(2) 訪問時間 午後3時15分から午後4時45分まで

(3) 特徴など

～国指定重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」の保存に尽力する民間団体～

- ・明治初め、地元醤油醸造業者である高須庄吉が、多くの協力者を得て富士塚を築造。高さ約8.7m、直径約30mの当該富士塚は、現存する富士塚では最大級
- ・平成17年に保存会が発足。富士塚を後世に継承するとともに、住民の「心のふるさとづくり」と地域活性化を目的に活動
- ・平成26年度から29年度にかけ、多くの住民からの支援・協力を得て、経年劣化や東日本大震災で傷んだ富士塚の保存修理事業を実施
- ・現在、草刈やモグラ対策などの維持管理や入山者へのガイドなどを実施、多くの人々に貴重な文化財に接してもらう機会を提供。また、商工会との連携によるグッズ製作など、賑わいづくりにも貢献
- ・令和2年3月、富士塚が国指定重要有形民俗文化財に指定